

平成24年度 北陸地方整備局 第3回事業評価監視委員会 議事録（概要）

1. 日 時 平成24年11月15日（木） 13時30分～16時00分
2. 場 所 北陸地方整備局 4階 共用会議室
3. 出席者 委 員：大川委員長、石黒委員、川邊委員、古田委員、細山田委員、
水野委員、宮島委員
北陸地整：局長、総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、
港湾空港部長、用地部長他

4. 審 議

（1） 河川事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

- 阿賀川直轄河川改修事業
- 阿賀野川直轄河川改修事業
- 阿賀野川総合水系環境整備事業
- 黒部川総合水系環境整備事業

■意見

○CVMアンケートが関心の高い方に偏った回答とならないよう、質問項目設定時に工夫が必要。

（2） 道路事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

- 国道18号上新バイパス
- 国道49号水原バイパス

■意見

○リダンダンシー機能を発揮する事業については、対応方針（原案）の理由に明記すること。

（3） 港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価及び対応方針（原案）は妥当。

- 伏木富山港伏木地区国際物流ターミナル整備事業
- 金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業
- 敦賀港鞠山南地区国際物流ターミナル整備事業

■意見

○事業を実施していく上で、港湾利用者の要望を反映し、柔軟に対応する取り組みが重要である。